

洗浄滅菌及び中央手術室補助業務委託 提案書評価基準

評価項目		評価基準	決定配点
1 経営状況			5
経営状況		経営が安定しており、財務状況は健全か（損益上の欠損や債務超過がない）	5
2 業務運営			10
使命・運営目標 改善提案 パートナーシップ		洗浄滅菌等業務に対する使命、行動規範、運営目標が適切かつ明確に示されているか 洗浄滅菌等業務の課題の発見、改善に対する積極的な姿勢がうかがえるか 本院のパートナーにふさわしいか（目標・使命の共有化／意思疎通／協力）	10
3 洗浄滅菌及び中央手術室補助業務			50
(1) 洗浄滅菌		回収・洗浄滅菌・搬送までのサイクルについて当院の現状をふまえた効率的かつ具体的な運用となっているか 滅菌器材の安定供給や、滅菌を保証するための具体的かつ優れた提案があるか	30
(2) 手術室補助		術前・術間の準備において、迅速かつ円滑な運用が提案されているか 術間の待機時間等を活用した効率的な運用が提案されているか 看護職員の負担軽減につながる提案がされているか	20
4 業務執行の組織・体制			25
(1) 組織体制		本提案を遂行できる組織的な体制が整えられるか（本社と病院現場間の連絡及び支援体制） 業務従事者全員に運営方針を徹底させるしくみがあるか	15
(2) 責任者		責任者として十分な実績及び資格を有し、十分に従事者を管理監督できるものと認められるか 実績ある責任者が確保できるか	
(3) 受託準備体制		業務実施のための作業スケジュール・項目が適切に実行できる根拠・工夫・経験等が具体的に示されているか 業務実施のための本社応援体制・スポット増員等十分な準備体制がとられているか	10
(4) 人材確保・人員配置		配置を計画しているスタッフの構成、必要な人員の確保ができていないか 業務実施をする上で、効率的効果的に人員体制を組んでいるか 採用方針・基準及び採用計画が適切かつ明確か 離職抑制に対する対応策、従事者の退職や休職による欠員時等の即時解消、従事者交代へのフォローができる体制にあるか	
5 教育			20
(1) 教育・研修計画 専門的知識の習得 体系的・段階的研修 日常的教育・研修		資質の向上・平準化を図るための教育・研修計画が策定されているか（できるか） 業務に関する理解、知識・技能の向上等の教育・研修が行われるか（感染症・医療安全対策） 当院主催の医療安全・感染管理の研修に参加することが可能であるか 経験年数、知識・技術等の相違に応じた教育・研修計画が体系的に行われるか 日常的な教育・研修のしくみが構築されているか（研修マニュアル、研修計画、回数、対象職種等）	10
(2) 法令順守 情報漏洩防止 従業員満足		個人情報・コンプライアンスの研修体制が整っているか 業務上知り得た情報の漏洩防止策が取られているか 満足度向上に対する姿勢が伺えるか	10
6 危機管理・安全管理			20
(1) 緊急時・不測事態への対応		緊急時・不測事態（災害・感染症流行・リコール発生・装置トラブルによる業務不能等）に備えた対策が具体的に示されているか 緊急時及び災害時において、診療材料・医薬品の欠品時等への対応策を有しているか 業務の遂行が困難になった際、継続的に業務を実施できる計画・体制が整えられるか	10
(2) 安全管理		院内感染防止等安全確保体制が整っているか 物品等の安全な使用に関する最新情報の提供について、安全性に関する情報の把握とその提供体制があるか	10
7 自由提案			20
改善・提案		上記1～6までの事項以外に、他施設での実績及び当院の現状を踏まえ、本院の経営全般に資する提案がされているか	20

150

評価	採点	採点内容
A	(5), (10), (15), (20), (25)	非常に優れている。安心して業務を委託できる。
B	(4), (8), (12), (16), (20)	優れている。十分な能力を有している。
C	(3), (6), (9), (12), (15)	標準的である。
D	(2), (4), (6), (8), (12)	やや劣る。
E	(1), (2), (3), (4), (5)	劣る、委託するには不安である。